

二期(一般)

2023年度 武蔵野大学大学院

文学研究科 日本文学専攻 入学試験問題・解答用紙 (一月八日)

「小論文」

受験番号

氏名

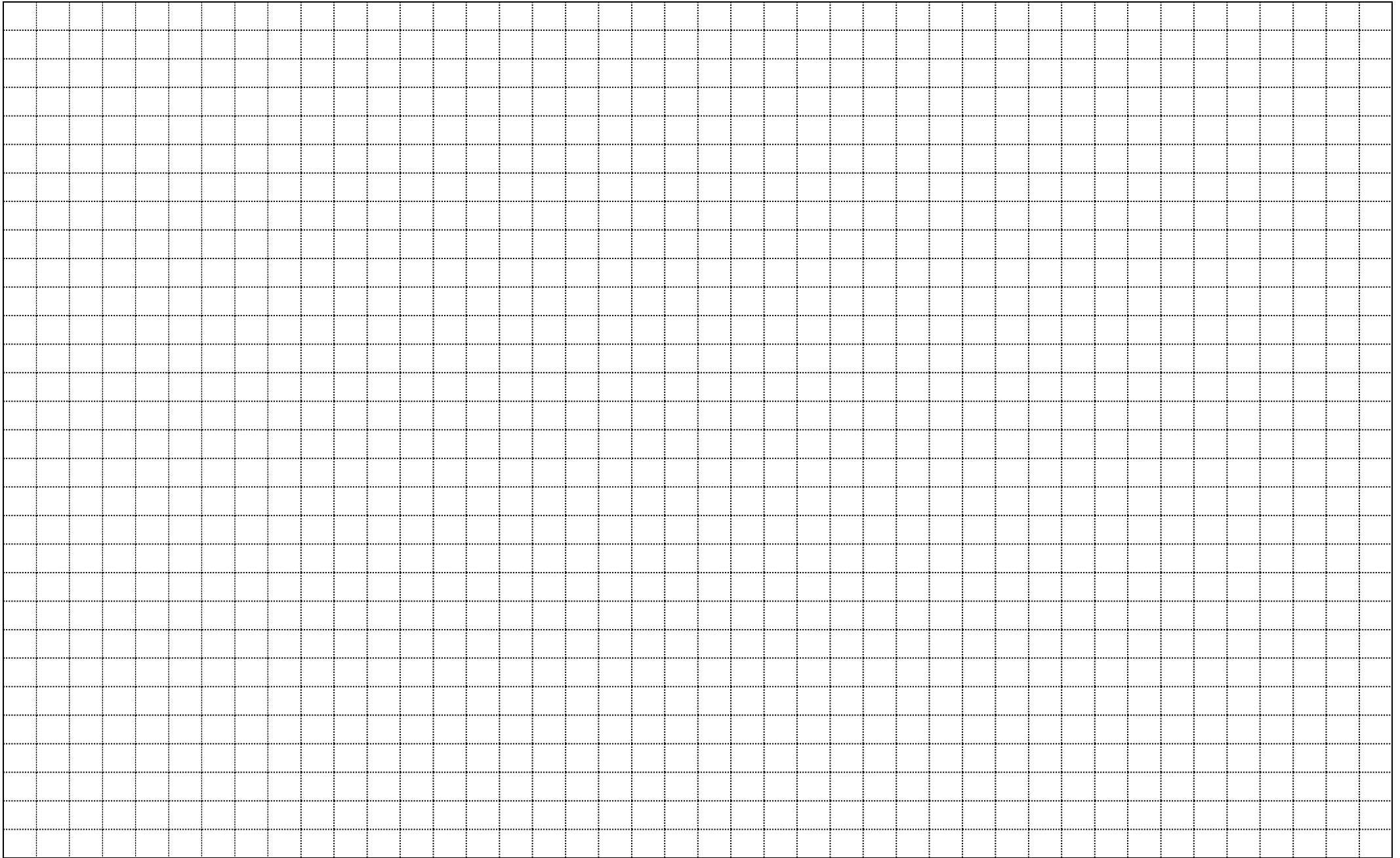
--

評点

--

かつてジャン＝ポール・サルトルは、『Le Monde』のインタビュー(一九六四年四月二八日)において、「死んで行く子供を前にして、『嘔吐』は無力である」と発言し、大きな反響を呼び、国際的な議論になりました。サルトルの問題提起に応じた日本の文学者の一人に大江健三郎がいます。別紙は、『厳粛な綱渡り』(文藝春秋、一九六五年三月)所収の「飢えて死ぬ子供の前で文学は有効か?」です。同文を参考にして大江健三郎の見解を要約し、それについてのあなたの意見を述べてください。

(字数は、要約と自己の意見をあわせて1200字程度を目安に)



1200

900

600

300